

岡山地区化学工学懇話会会員各位

岡山地区化学工学懇話会
会長 岡田敏彦

工場見学とミニシンポ「コンビナート活性化」の開催について（ご案内）

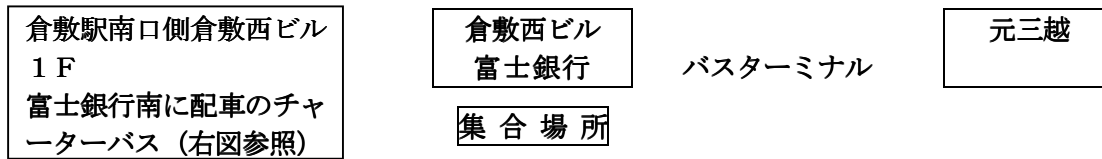
時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度下記要領で工場見学とミニシンポ「コンビナート活性化」を行います。皆様お誘い合わせの上、多数ご参加下さいますようお願い致します。

記

- 1. 日時 平成17年12月15日(木) 13:15~17:40
- 2. 見学先 新日本石油精製(株)水島製油所 (倉敷市水島海岸通4-2 Tel 086-448-3311)
「新日本石油精製(株)水島製油所は、25万BDの原油処理能力を有する国内最大規模の製油所です。各種燃料をはじめ、石化原料や潤滑油などを生産しており、来年春には地域のLNG拠点として天然ガスの供給も開始します。」

- 3. 集合 13:15 ■ □ ■ □ ■ □ 倉敷駅南口 □ ■ □ ■ □ ■



バス

- 4. スケジュール
 - 13:15 倉敷駅前出発、バスで新日本石油精製(株)へ
 - 14:00 新日本石油精製(株)正門到着
 - 14:10~14:30 精油所概要&紹介ビデオ
 - 14:30~15:00 講演1
千代田化工建設(株) 先端エナジー事業開発室
プロジェクト部長 松田一夫氏
「ピンチテクノロジーによるコンビナートのエネルギー共有の実現」
近年、単一工場での省エネルギーはもはや限界だとの声が聞かれるが、コンビナート内の工場間で、熱やエネルギーの共有による省エネが可能ではないかと考え、ピンチテクノロジーを適用してコンビナート全体での省エネの可能性を検討した。大きな省エネ余地を確認した結果と、その中から具体化に進んだ案件を報告する。
 - 15:00~15:30 講演2
新日本石油精製(株)水島製油所
計画グループ 石川和弘氏
「水島コンビナートルネッサンスにおけるコンビナート活性化の現状」
国際競争力のあるコンビナートを作るという目的で、2000年より経産省の補助金交付を受けてコンビナートルネッサンス事業が全国で展開している。ここ水島では第1期事業として石油2社、石化2社を十数本の配管で結び物の融通により効率的な運営を図っている。2003年からは第2期事業として環境負荷低減を目的に加えて2事業を実現すべく現在建設中である。
 - 15:30~16:30 工場見学
 - 16:30~16:50 質疑応答
 - 17:00 新日本石油精製(株)出発
 - 17:40 倉敷駅前にて解散

※現地集合の方(14:00集合)
正門に来客用駐車場がございますので、そちらをご利用下さい。
(別紙参照)

- 5. 参加費 無料
- 6. 定員 30名(会員外5名まで先着順)
- 7. 申込み 12月8日(木)までに事務局にFAXまたはE-mailでお申し込みください。
- 8. 事務局 財団法人岡山県産業振興財団(担当者:間宮)
〒701-1221 岡山市芳賀5301(テクノサポート岡山3階)
TEL 086-286-9651、FAX 086-286-9676、e-mail mtsugeno@optic.or.jp
- 9. 主催 岡山地区化学工学懇話会、化学工学会中四国支部

 (財)岡山県産業振興財団 行き(担当:間宮) FAX 086-286-9676 12/8 締切
 e-mail mtsugeno@optic.or.jp

12月15日(木) 工場見学とミニシンポ「コンビナート活性化」参加申込書		
企業・機関名 参加者氏名・連絡先		
交通手段 ※どちらかに○をお付け下さい。	貸切バス使用	直接現地

